



4月号

もみじ館での「山野草展」より「ブカン岩切草」

編集・発行  
熊日多良木販売センター  
(代)小出忠紹  
尾方隆博 石田敏郎 小出堅太郎  
球磨郡多良木町大字多良木356-1  
TEL 42-3355  
FAX 49-1726  
http://www.taragi.com/

### HAPPY NEWS 2007大賞



「山口朋辰」  
(幼い時、明石市の消防イベントに出かけた時の写真を父正二さんと一緒に見ると、同じ道を歩む。

阪神大震災で救助活動に奔走した兵庫県明石市消防署の救急救命士、石川正二さん(41)「神戸市垂水区」の次男雄太さん(18)が今春、同県消防学校に入校する。震災直後、家族を残して救助活動に向かった父に、一時は反発心を抱いた。しかし、高校の授業などを通じて「一人で多くの命を救いたい」という当時の消防士の思いを知った。父の背に命の大切さを教えられ、同じ道を歩む。

### 家族残して出勤その気持ちちやつとわかつたよ 父の背追い消防士に

神戸・石川さん

震災で、9カ月前に新築した家の中はめっちゃめちゃになった。家族5人は全員無事だったが、正二さんは30分もすると傾いた玄関ドアをこじ開け、飛び出して行った。生後3カ月の妹は泣きやまず、母久子さん(40)が「お父さんどこ行くの」と不安そうな表情を浮かべた。その後3、4カ月間、父は深夜に帰宅する日が続いた。風邪で高熱があつても出勤した。近所の父親たちは水運びや自宅の修理をしている。「一番大事な時にいない。家族を放って仕事に行くなんて」と腹が立った。一方で「どうしてあんなに一生懸命になれるんだ」とも思った。答えを求めて、県立

舞子高校の全国で唯一の環境防災科に進学した。一年夏の授業。震災の時、水圧が足りず、わずかな水しか出ないホースを燃えさかる建物に向け、何とか消火しようとしている消防士の写真を見た。「救えたはずの命が救えなかった」と悔やむ消防士の証言も聞いた。父からは、神戸市長田区のがれきの下で女性2人を見つけたこと、その2人はこたつで身を寄せあい、既に亡くなっていたことを教えられた。「本当につらかったのはお父さんだったんだ」。進むべき道が見えた。一年間予備校に通い、昨年11月、正二さんと同じ明石市消防本部に内定した。合格の知らせを誰よりも喜んだ正二さんは「困っている人に頼られ、ありがとう」と言ってもらえる存在になつてほしい」と期待している。毎日新聞2008年1月17日付朝刊掲載

### 親子の笑顔、心に灯

多和和勲さん 69歳 (兵庫県)

阪神大震災のとき、私は兵庫県の警察官だった。出勤日の早朝、自宅で被災したのが、めっちゃめちゃになった家などに埋もれながら、途方に暮れた妻と長女が、私が出行くのを思いとどまらせようと、懸命に腕を引っ張ったのを覚えている。

私は、社会に貢献したいという純粋な志を抱いて警察官になつたけれど、直接「人助け」をする度合いのより大きい、消防士の仕事はあこがれの対象だった。被災した自宅から、引き留めようとする家族を振り切つて出勤した神戸市の石川さん。当時5歳くらいだった息子さんは、そういう父親が、自分たちを放つたらかしくしていくように思えた。しかし、父親の職務の崇高さを理解できるようになつた。

息子さんは、自分も消防士になることを決めた。危険性の大きい職業をあえて選んだ息子と、動機付けをしたことになる父親の、写真に見る素晴らしい笑顔、心の中に明るい灯のともる思いのした記事であった。毎日新聞2008年1月17日付朝刊を読んで

た息子さんは、自分も消防士になることを決めた。危険性の大きい職業をあえて選んだ息子と、動機付けをしたことになる父親の、写真に見る素晴らしい笑顔、心の中に明るい灯のともる思いのした記事であった。毎日新聞2008年1月17日付朝刊を読んで

熊日多良木・岡原販売センター

### 心和ます山野草展賑わう



(10時のオープンと同時にどっとお客様が来場されました。)

四月十九日、二十日の両日、元岡原村役場横の「もみじ館」において、球磨川山野草愛好会・倉元 蕃会長と「熊日多良木・岡原販売センター」の共催で山野草展が開催されました。会員の皆さんが、手塩をかけて育てられたものが狭しと約五百鉢が展示され、また、即売用に鉢物や苗も用意されました。



ギボウシ



白花カッコウ草

た。白色や黄色、桃色などかれない花が来場者の目と心を和ませていました。岡原、多良木をはじめ、球磨村からも団体さんが訪れ、四百人を超す程の賑わいでした。「秋の山野草展」を予定しています。ご来場ありがとうございます。

### バレーボール大好きな小学生集まれ!



多良木ジュニアバレーボールクラブ(沢村研史監督)では、部員を募集しています。現在、創部6年目で着実に力を付けてきており、今年のTKUカップ新人戦では念願のベスト8に進出しました。また、南九州大会では、準決勝で県の強豪チーム滑石JBCに勝って準優勝しました。現在、6月の全国大会予選に向けて練習に励んでいます。指導者も揃っており低学年から学年に応じた指導や練習方法で毎週、月、水、金の3日間、18時から20時までの2時間、多良木町民体育館を中心に練習していますので、一度練習を見に来てください、6年生も大歓迎です。詳しくは多良木町役場(教育振興課) 執柄健一さん迄。TEL 42-6111(内線352)

### 木希記

以前にも取り上げましたが、JR肥薩線の八代(人吉間)通称川線が開通して百年。記念日にあたる六月一日にはセレモニーが行われるほか、特別列車も走ります。地元はもとより全国の鉄道ファンが注目しています。人吉の知人から老舗旅館鍋屋に残る資料について興味深い話を聞きました。民俗学の体系を確立させた柳田国男氏が同館に明治四十一年六月十三、十五、十七日に宿泊、七月十三日からは五日の逗留をしているのです。当時、柳田氏は法制局参事官というお役人。五月下旬に博多を出て九州各地を視察する途中、開通直後の肥薩線で人吉入り。鍋屋の主人に平家落人集落の話聞き、鹿児島、宮崎県下を回った後、椎葉を訪ねました。柳田民俗学を確立させたきっかけは鍋屋の宿泊というのも誇張とは言えませんが。人や物資だけでなく文化も運び育てる役割を鉄道が果たしていた、と改めて感じます。現天皇皇后両陛下はじめ、岸信介、竹下登、福田起夫、小淵恵三、細川護熙といった総理経験者が五人も宿泊者記録に残っているのも同館の歴史を教えてください。(X)

熊日多良木・岡原販売センター





**愛犬ペルです**  
 ポメラニアンの子で7歳(人間では44歳)食へ物に旨が無い好奇心旺盛な愛犬です。  
 飼い主・多良木町多良木  
**吉田国彦さん**



**園児紹介**  
**多良木第一保育所**

施設長 東松代先生 きく組(11名):担任 吉鶴 緑先生  
 年長さんの自覚が出て来て、年中さんのお世話を良くしてくれる様になりました。最近では野菜を植えたり給食当番や規律訓練など楽しみにしている、元気で賑やかな子供たちです。

**もうすぐ子どもの日**

多良木町多良木

いちご  
**藤本 一期くん(4歳)**  
 かずたか  
**和貴くん**  
 (1歳6ヵ月)

父:直樹さん 母:恵美さん  
 一期は「一期一会」から、和貴は聖徳太子の「17条憲法」から、どちらもみんなと仲良くなって欲しいと願って名付けました。



多良木町黒肥地  
 あさ たろう  
**東 朝太郎くん(3歳)**  
 なおこ  
**奈保子ちゃん(2歳)**  
 りゅうのすけ  
**龍之佑くん(7ヵ月)**  
 父:健一郎さん  
 母:ルミさん  
 元気いっぱい3人組です。これからもすこやかに

育て下さい。早く大きくなって一緒に焼酎飲みましょう。

多良木町黒肥地

ゆま  
**山口 友万ちゃん(5歳)**  
 みゆ  
**美優ちゃん(2歳)**  
 そう  
**総くん(7ヵ月)**  
 こう  
**功くん(7ヵ月)**

父:純司さん  
 母:有紀さん

双子が生まれて、上の二人は大分お姉ちゃんになりました。みんな仲良く元気に育て下さい。



つねひろ  
 父:鶴本識博さん 母:真紀さん  
 毎日とっても元気いっぱいの4兄弟!!いつまでも兄弟仲良く、たくましい男になってね!

あさぎり町岡原南  
 たけと  
**鶴本 雄斗くん(6歳)**  
 そうし  
**将士くん(5歳)**  
 はるき  
**悠大くん(3歳)**  
 まさや  
**雅也くん(8ヵ月)**

**自慢の可憐な花を競う**



人吉・球磨えびね展が4月19、20日の2日間、錦町の農業就業改善センターで開かれました。人吉・球磨えびね会(椎葉利次代表)会員の10名が自慢の花を約300鉢持ち寄り競いました。19日には宮崎県や山口県からのマイクロバスの団体さんも訪れ、えびね蘭愛好家の熱意に敬服しました。また、4月26、27日には、宇城市のウイング松橋で熊本県えびね連合会主催(後援:熊本日日新聞社)による、えびね展も開催されます。約500鉢の展示が予想されます、また販売もありますので早めに足を運ばれてはいかがでしょうか。

**多良木警察署だより**

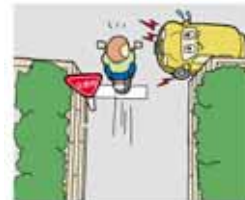
交差点における出会い頭の交通事故多発!

多良木警察署管内においては、交通事故が多発しています。特に、交差点における出会い頭の交通事故が発生件数全体の約4割をしめています。

交差点における交通事故の原因としては、左右の安全不確認や徐行不履行などが主なものとなっています。

交差点では、徐行や一時停止、左右の安全確認を確実にいき、十分に注意して通行してください。

多良木警察署管内事故発生件数	
(平成20年4月15日現在)	
発生件数	26件(+10)
死者	0人(-1)
傷者	37人(+20)
交差点事故	11件(+4)
*( )内は昨年比	



後部座席もシートベルトの着用を!

道路交通法の改正により、後部座席のシートベルトの着用が義務化されます。車に乗ったら、前も後ろも、まずシートベルトの着用をしましょう。

平成20年6月施行  
 後部乗員がシートベルト非着用の場合、着用のと比べると

- ・本人の致死率は4倍
- ・本人の車外放出率は2倍
- ・前席乗員の頭部重傷率は5.1倍



3つの危険  
 自分自身が大きな被害 車外放出の危険 前席同乗者への加害